

総合教育センターだより

第76号

平成16年6月

学校を支援するセンターとして

～積極的なセンター活用と教育実践の充実～



京都府総合教育センター
所長 田代 淑久

京都府総合教育センターでは、京都府教育委員会の『『京の子ども、夢・未来』プラン21ー京都府の教育改革ー』、「指導の重点」を踏まえ、専門的事項に係る研究と教職員の資質向上を目指す研修、児童生徒や保護者・教職員への教育相談などの事業を展開しています。

特に、本年度は「学校を支援するセンター」をコンセプトに次の2点について事業の拡充を図りたいと考えています。

1 教育実践に役立つ事業の拡充

研修事業と研究事業の一体化を図るとともに、センターのホームページとも関連を図り、常に新しい教育情報を発信していきたいと考えています。

とりわけ、「指導と評価の一体化を図る授業改善」「観察・実験を重視し、知的好奇心や探求心を高める理科教育の充実」「不登校の未然防止や解決」「自閉症やLD等の特別支援教育体制の充実」「ITを活用した授業の展開」など学校が抱える課題やニーズに対応し、教育実践に役立つ事業展開となるよう工夫改善をしているところです。

2 関係諸機関と連携した事業の拡充

京都夢・未来校などの優れた実践を取り込んだ講座の実施や小学校、養護学校を研修会場とした各地域の教職員が参加しやすい講座の開設など、学校との連携を深めます。また、京都府の地域特性を生かし、大学や関西学研都市にある研究機関と連携した、より専門的な内容の講座を展開します。

さらに、センターでは、インターネットや情報教育機器等を活用して、教育活動全般について学校のニーズに対応した迅速かつ的確な情報や先導性・先進性を持った情報を提示できるよう努力しているところです。

センターが「学校を支援するセンター」として、京都府の教育情報発信の中核的な役割を果たせるよう皆様方の御理解と御協力をよろしくお願いします。また、センターのこれらの機能や事業を大いに活用され、よりよい教育実践が展開されることを願っております。



◎ 子どもたちに確かな学力を付けたい



■ こんなことに困っていませんか。

- ・ 評価をするための資料や教材は
- ・ 授業改善のPDCAとは
- ・ 診断テスト等の具体的な活用方法を知りたい
- ・ 新しい学習指導法を研究したい

■ こんなことを研修します。

- ・ 具体の評価規準の作成
- ・ 単元指導計画に基づく学習指導案の作成
- ・ 個に応じたきめ細かな指導実践
- ・ 評価を生かした授業改善の具体的方策

■ 主な研修講座

- ・ 授業改善・評価研究—小学校
国語、算数、生活、体育、家庭
- ・ 授業改善・評価研究—中学校
国語、社会、理科、技家(家庭)
- ・ 小学校基礎学力充実A・B
- ・ 中学校学力充実A・B
- ・ 高等学校「教科教育講座」

◎ 障害のある子どもたちへの指導法を知りたい



■ こんなことに困っていませんか。

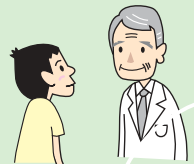
- ・ 障害の特性を踏まえた指導とは
- ・ 特別支援教育で盲・聾・養護学校の役割は
- ・ 心理検査で何が分かるの

■ こんなことを研修します。

- ・ 自閉症やLD等の正確な認識と障害や認知特性に応じた指導や支援の在り方
- ・ 盲・聾・養護学校のセンター的機能と連携の在り方
- ・ WISK-IIIやK-ABCのプロフィールの分析と指導の活用方法

■ 主な研修講座

- ・ 自閉症指導法 I II
- ・ LD等指導法 I II
- ・ 障害児教育地域連携
- ・ 自立活動
- ・ 心理検査実技 I II
- ・ 障害児教育 I II III



◎ コンピュータ等を活用した授業をしたい



■ こんなことに困っていませんか。

- ・ 校内でITを活用した授業を進めるには
- ・ テレビ会議を活用した授業がしたい
- ・ 職員室のネットワークを整備したい

■ こんなことを研修します。

- ・ 校内研修計画の企画・運営
- ・ テレビ会議やビデオサーバーの活用・実習
- ・ ネットワークやサーバーの理解と実習
- ・ ITを活用した教材の開発

■ 主な研修講座

- ・ IT授業推進特別 I II III
- ・ 高速インターネット活用 A B
- ・ 校内ネットワーク運用 A B
- ・ 情報化推進リーダー養成特別



◎子どもたちの「こころ」に迫りたい



■こんなことに困っていませんか。

- ・問題行動の要因を探りたい
- ・登校しにくい子どもへの対応に自信がない
- ・教育相談について基礎から学び直したい
- ・教育相談の事例から学びたい

■こんなことを研修します。

- ・問題行動防止のための指導方法
- ・事例研究を通したより深い子どもの理解
- ・不登校の早期発見・未然防止
- ・専門機関との連携のあり方

■主な研修講座

- ・生徒指導
- ・学校教育相談実技実践基礎ⅠⅡ
- ・学校教育相談事例研究Ⅰ～Ⅴ
- ・教職経験10年研修「生徒指導」ⅠⅡ
- ・教職経験10年研修
「学校不適應問題等」「教育相談」
- ・子どものこころ セミナーⅠⅡ
(府民開放講座)

◎子どもたちに理科のおもしろさを伝えたい



■こんなことに困っていませんか。

- ・より安全に実験をするには
- ・理科での発展的な学習とは
- ・遺伝子に関する最先端技術に触れてみたい

■こんなことを研修します。

- ・教科書に沿った実験方法の習得と要点の把握
- ・基礎・基本の上に立った発展的な学習の指導
- ・最新の遺伝子工学の動向

■主な研修講座

- ・小学校理科実験ベーシック
(各局別小学校出前講座)
- ・小学校理科教育ⅠⅡ
- ・科学技術教育
(学研都市の機関との連携)



◎より専門性を高め学校運営に生かしたい



■こんなことに困っていませんか。

- ・高等学校における授業改善の具体的方策とは
- ・組織マネジメントについて知りたい
- ・学校の危機管理での管理職の役割は

■こんなことを研修します。

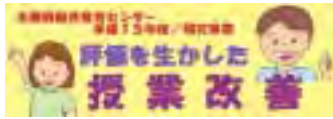
- ・教育活動と法的根拠等の関連
- ・専門分野別の指導方法
- ・学校運営と教職員体制及び連携・協働
- ・高等学校と大学との連携

■主な研修講座

- ・授業改善・評価研究—中学校
技術・家庭(家庭)
- ・高等学校「教科教育講座」
- ・科学技術教育
- ・「学校運営基礎」特別Ⅰ～Ⅴ
- ・部長・主任等演習特別ⅠⅡ



「評価を生かした授業改善を進める」



<http://www1.kyoto-be.ne.jp/ed-center/h15kenkyu/index.htm>
 詳しくは、センターホームページ上の左のパナーをクリックしてください。

目標準拠による評価の解説

- ・9教科ごとに教科目標に照らして実現状況を見る評価（いわゆる絶対評価）の解説
- ・評価の在り方について、観点別学習状況の評価など9つのポイントで解説

きめ細かな指導に生かす評価の活用

- ・子どもの学習の改善に生きる評価
- ・教師の指導の改善に生きる評価
- ・学習プロセスを大切に評価
- ・個に応じた指導を効果的にする評価

学習指導の充実

3要素を押さえた指導

- ・学ぶ意欲を高める
- ・学び方を身につける
- ・学んだことを生かす力を付ける



評価の改善

学習の実現状況の把握

- ・個人内評価を有効に生かす
- ・次の学習意欲につながる自己評価、相互評価の活用

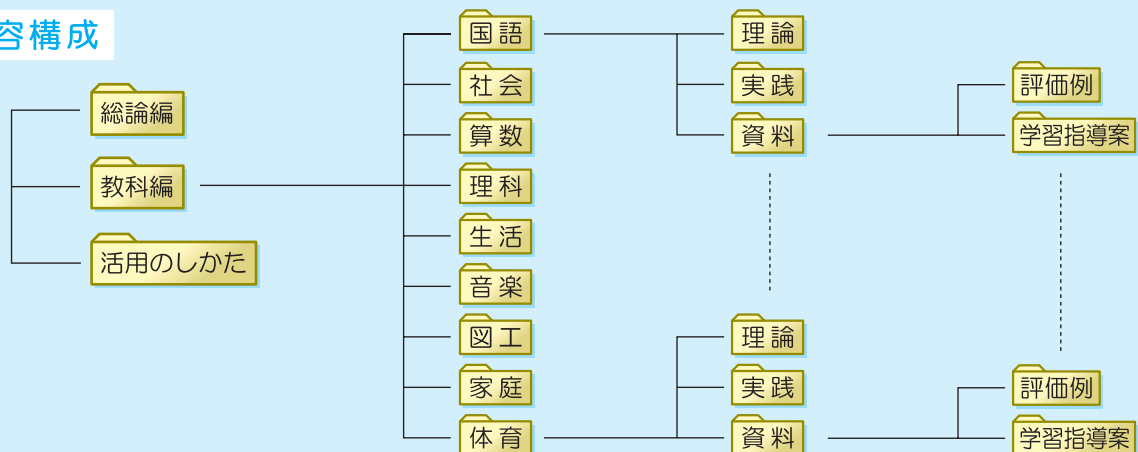
豊富な授業実践事例

- ・指導場面を具体的に記述した事例
- ・学習指導案、ワークシートや自己評価票など実際に活用する教材の例示
- ・教科での実践と資料を関連づけた構成

校内研修に役立つ資料として

- ・CD版による資料提供をしています。
- ・印刷に便利なPDF資料も添付しました。
- ・コンパクトな概要版を配付しました。

内容構成



「みえますか？子どものサイン？」



<http://www1.kyoto-be.ne.jp/ed-center/sodan/index.htm>

センターホームページ上の左のバナーをクリックしてください。

保護者や地域の方々と一緒に『気になる子』が発するサインを的確につかみ、適切なサポートを行うため、10の態様別にそれぞれの理解と対応について記載しています。

〈こんなサインはありませんか 10の態様〉

「背のびしているよい子」「反抗する」「虐待が疑われる」「キレル」「登校できない」「暴力をふるう」「落ち着きがない」「興奮しやすい」「忘れ物が多い」「教科学習に特異な困難を示す」

「LD、ADHD等のサポートマニュアル」



http://www1.kyoto-be.ne.jp/ed-center/syokyoiku/skyoiku_8.htm

詳しくは、センターホームページ上の左のバナーをクリックしてください。

- LD、ADHD等について
- 正しい理解のために
～アセスメントの方法～
- 個別の指導計画
- 演習のページ

このページは、通常学級の担任がLD、ADHD等で指導を困難と感じる事例で、支援の手だてをワークシートにまとめました。演習として、12例のシートを載せています。各校で実際の支援の在り方を考えていく際に御活用ください。

「小学校理科実験基本マニュアル」



<http://www1.kyoto-be.ne.jp/n-center/rika-jikken/top/index.htm>

詳しくは、センターホームページ上の左のバナーをクリックしてください。

子どもたちは
理科実験が大好き

しかし

教員は
・実験のねらい、方法は？
・安全への配慮は？・準備が大変！
・予備実験も必要！

やることが
いっぱい...

お助けします。

教科書の単元・実験内容に沿って作ってあります。

3つの特徴

実験の様子を写真と動画で説明してあります。

B区分(物質とエネルギー)の実験を紹介しています。

※6年生は夏に完成予定！
※「おもしろ実験募集」のページのメールアドレスにお気軽に感想等お寄せください。

不登校① 「未然防止と早期発見のポイント」



『よい子』が登校できない

親や教師にとって何の心配もなく、模範的な子として周りの人たちから評価を受けてきた「背のびしているよい子」が、突然、学校に行きにくくなることがあります。「背のびしているよい子」は、大人の手のかからない、大人の言うことよく聞く子です。大人にとって都合がよい子であるとも言えます。周囲の人によく気がつく子で、しっかりしていて頑張る子であったりします。自分のことは自分でよくできる子なので、親も教師も普段は「気になる子」でないことが多いようです。

親は、自分がしてきた苦勞は我が子にはさせたくない、何とか一度しかない自分の人生を自分らしい生き方で幸福に生きてほしいと願っています。子どもを襲う不幸は取り払い、できればいい仕事に就かせて苦勞せず生きていってほしい。子を持つ親であればおそらく、そう思うはずで

ところが、その我が子が他の子どもよりもペースが遅かったり、モジモジして引っ込み思案であったりすると、我が子を思うあまり、親はそれが自分のことのように心配でたまらなくなってしまうのです。

こういうとき、親の「期待や願い」は、「不安と焦り」にすり替わってしまいます。

子どもが必要としていないのに、つつい口や手を出したり、時には背中を押したり、叱ったりすることにもなってしまいます。このままでは我が子は将来、幸せな人生を送れないのではないか、みんなとうまく一緒にやっではいけないんじゃないかというような不安に襲われてしまうからです。

「自分がそれほどできた方ではない」「自分はうまく育ててもらえたとおえない」という劣等感が、親自身の中にある場合、それが子どもへの期待となって現れると、さらに、子どもは小さい背中に「大きい重たい荷物」を背負い込んでしまうこととなります。

このことは親も子どものためによかれと思ってやっているわけですが、その親の期待や願いによって、子どもの心理的負担が過大になってしまい、疲れ果ててしまう子どももいるということを肝に銘じておくことが必要でしょう。

「よい子」は高性能のアンテナを張り巡らせて、周りの大人達から寄せられている「期待や願い」を常に敏感にキャッチしているのです。

敏感で素直で、心優しい気配りのできる「よい子」であればあるほど、それに押しつぶされやすいことは言うまでもありません。登校できない状態になっても親や教師から登校や学習することを暗に催促されたりします。学校に行かなくてよい、学習はしなくてよいと思っている親や教師はいないわけですから、そうなると余計に子どもは、「親や教師の期待に添えない私はダメな子」と否定的に受け取ってしまい、自分の失敗や挫折感はもう口に出せなくなってしまいます。

＜親の期待や願い＞
 「我が子には同じ苦勞を…」
 「我が子のためなら…」
 ＜親の不安と焦り＞
 「このままでは幸せな人生が…」

「親や周囲の人にどう思われているか」
 「我慢」「動けない」
 「ちょっと心配」
 「期待にそえないボクはダメ…」
 「言えない」
 「人に合わせる」
 「疲れる…」

子どもの不登校を未然に防ぎ、早期発見するためには、まず、このような子どものこころの状態を理解することが一つのポイントです。

子どもに対する親や教師の要求や指示は、自分の中にある期待や願いが言語化されて現れたものです。

親や教師が子どもに対して要求したり指示したりするとき、それが自分自身のどんな体験から発せられているのか、自分のどのような感情から発せられているのかについて親や教師が自分自身に「こころを巡らせる」ということが大切であると言えます。

＜詳しくは「みえますか？子どものサイン？」を参照＞

平成16年度の「京都夢・未来校 指定校」の紹介

平成15・16年度

小学校

国語

山城町立棚倉小学校

伝え合う力を高め、心をつなぎ合える子どもの育成

亀岡市立南つつじヶ丘小学校

確かな学力と豊かな感性をもち、生き生きと伝え合う児童の育成

社会

丹波町立丹波ひかり小学校

確かな学力を身に付け、自らめあてをもって生き生きと活動する児童の育成

福知山市立修斉小学校

自分らしく生き生きと表現する児童の育成

算数

美山町立鶴ヶ岡小学校

個が輝く学習活動の創造をめざして

京丹後市立大宮第二小学校

算数の世界を楽しみ、豊かに生きる力をはぐくむ「確かな学力」の育成

人権

精華町立川西小学校

一人一人を大切にする児童の育成を目指す人権教育の在り方

中学校

国語

舞鶴市立城南中学校

自ら学ぶ意欲と自ら考える態度を育成する授業の研究

岩滝町宮津市中学校組合立橋立中学校

生徒一人一人の「主体的に伝え合う」能力と態度の育成

数学

長岡京市立長岡中学校

学力及び学習状況の的確な分析による一人一人の実態に応じたきめ細かな指導の充実

理科

城陽市立北城陽中学校

確かな学力を付けるための指導方法や指導体制の工夫改善

道徳

亀岡市立詳徳中学校

生徒の豊かな活動を通して進める道徳・心の教育

平成16・17年度

小学校

国語

福知山市立惇明小学校

確かな学力を身につけ、豊かに伝え合う児童の育成

～自ら学ぶ力を育てる国語科授業の創造を通して～

京丹後市立佐濃小学校

言葉を通して自ら考える児童の育成

～一人一人の学びを大切にした国語科の研究～

算数

日吉町立胡麻郷小学校

基礎学力が身につく算数科授業の創造 ー学びのしつけを大切にー

舞鶴市立中筋小学校

「できた！ 分かった！ おもしろい！」 個の学びの見える算数

～ 暮らしの高まりの中で ～

理科

木津町立相楽台小学校

心豊かに自ら学ぶ児童の育成

ー見通しをもち 目を輝かせて学び続ける理科学習ー

道徳

久御山町立御牧小学校

豊かな心をもち、たくましく実践できる児童の育成

中学校

国語

亀岡市立育親中学校

「読解力」と「表現力」を高める指導を通じて、基礎・基本の学力の充実・向上をめざす。

社会

宇治市立宇治中学校

『生きる力の育成』 「生きる力」としての「学力」を高める

数学

宮津市立宮津中学校

生徒一人一人が理解したことを実感でき、考える力や確かな学力を身に付けさせる個

に応じた指導の工夫

英語

大山崎町立大山崎中学校

豊かな自己表現力の育成を目指す、英語教育の実践的研究

人権

綾部市立豊里中学校

豊かな感性と豊かな人間性の育成

～自己の個性と能力を伸ばす取組の創造～

小学校 13校

中学校 10校

平成16年度 長期研修派遣の紹介

障 害 児 教 育	江 本 和 生	府立丹波養護学校	国立特殊教育総合研究所	
	村 田 安 弘	府立中丹養護学校		
	堀 川 雅 文	府立与謝の海養護学校		
	三 谷 覚	府立与謝の海養護学校		府立農業大学校
	吉 田 久美子	府立中丹養護学校		京都教育大学特殊教育特別専攻科
	是 枝 佳 世	大山崎町立大山崎小学校		
指 導 方 法 ・ 評 価	国 語	小 森 志 乃	京丹後市立佐濃小学校	兵庫教育大学
	社 会	大 岩 洋 一	城陽市立富野小学校	
	数 学	安 達 秀 昭	宇治市立南宇治中学校	奈良教育大学
	理 科	開 田 浩 樹	向日市立勝山中学校	京都教育大学
環 境 教 育	藤 井 一 郎	長岡京市立長岡第八小学校		
道 徳 教 育	小 坂 卓 男	野田川町立江陽中学校		
生 徒 指 導 ・ 教 育 相 談	樋 口 肇	亀岡市立大成中学校		
国 際 理 解 教 育	山 崎 智佳子	舞鶴市立与保呂小学校	奈良教育大学	
情 報 教 育	中 江 ひとみ	亀岡市立畑野小学校	京都教育大学	
	佐 藤 景 子	舞鶴市立余内小学校	京都大学学術情報メディアセンター	
	久次米 秀 振	向日市立勝山中学校		
人 権 教 育	乾 隆 志 博	加茂町立泉川中学校	京都教育大学	
学 校 体 育	前 野 正 博	府立南丹高等学校		
民 間 企 業 等 派 遣 研 修	中 村 真 理	府立京都すばる高等学校	(株)島津製作所 日本ボーイスカウト京都連盟 (株)高島屋 京都店 知的障害者入所更生施設横手通り43番地「庵」 (株)大丸 京都店 NTT西日本 京都支店 天橋立観光協会 総合老人福祉施設はごろも苑 J A 京都丹後 (株)西利 ウェスティン都ホテル京都 (株)俵屋吉富 特別養護老人ホーム第2松寿苑 山崎製パン(株)京都工場 京都大学学術情報メディアセンター 京都教育大学 佛教大学	
	伊 豆 優 子	大山崎町立大山崎小学校		
	井 上 徹	宇治市立木幡小学校		
	堀 井 郁 子	城陽市立寺田西小学校		
	西 城 誠 一	京田辺市立松井ヶ丘小学校		
	山 口 幹 子	亀岡市立亀岡小学校		
	湯 浅 裕 晃	瑞穂町立瑞穂中学校		
	村 上 誠	福知山市立金谷小学校		
	茂 籠 のぞみ	宮津市立上宮津小学校		
	荒 田 嘉 明	京丹後市立宇川中学校		
	木 村 法 満	府立山城高等学校		
	前 口 良太郎	府立桂高等学校		
	川 本 容 子	府立菟道高等学校		
	坂 田 剛	府立福知山高等学校		
	西 岡 寛 人	府立城陽養護学校		
情 報 教 育	加 藤 真 里	府立京都すばる高等学校	京都大学学術情報メディアセンター	
家 庭(情報領域)	飯 田 順 子	府立菟道高等学校	京都教育大学	
福 祉 社 会 福 祉	枝 常 祐 子	府立南八幡高等学校	佛教大学	
	浮 網 千 春	府立峰山高等学校		
教 育 大 学 大 学 院	教 育 臨 床	櫻 井 秀 樹	宇治市立広野中学校	兵庫教育大学大学院
	学 校 教 育	南 田 高 典	府立中丹養護学校	京都教育大学大学院
	教 科 教 育	神 村 聡 美	福知山市立上川口小学校	
	比 嘉 鮮 樹	八木町立八木中学校		
	小 野 仁	府立園部高等学校		

府立学校教職員のための電話相談窓口 (075) 612-3048

セクシュアル・ハラスメントに係る相談窓口・教育実践に係る相談窓口
木曜日 午後1時から午後7時まで(祝日を除く)

京 都 府 総 合 教 育 セ ン タ ー 〒612-0064 京都市伏見区桃山毛利長門西町
TEL (075)612-3266 FAX (075)612-3267
企画教育部 (612-2950) 教職教育部 (612-2952) 障害児教育部 (612-2953)
教育相談室 (612-2959)
ふれあい・すこやかテレホン(612-3268または3301) 毎日8:30-20:30(祝日を除く)
http://www1.kyoto-be.ne.jp/ed-center/ E-mail ed-center@kyoto-be.ne.jp

北 部 研 修 所 〒623-0012 綾部市川糸町堀ノ内
TEL (0773)43-2934 FAX (0773)43-2935
ふれあい・すこやかテレホン(0773)43-0390 月～金 10:00-19:00(祝日を除く)
E-mail ned-center@kyoto-be.ne.jp